

しぜん
なりたの自然を
見てみよう！



なり た 市
成 田



1. ないたの自然 しぜん

ないたの自然 しぜん

みなさんは、成田市の自然なりた しぜんというと、何をイメージしますか？成田市には、印旛沼いんぼぬまや利根川とねがわなどの水辺みずべ、コナラやスギを中心とした林、田んぼや畑などのさまざまな環境かんきょうがあります。そして、環境のちがう場所には、それぞれにちがった生き物がすんでいます。

たとえば、成田市は「しぼり水」とよばれる水がわいている場所（湧水ゆうすい）が多く見られます。ここは、カエルやホタルなど、水辺の生き物のすみかとなっています。

この本では、成田市にどんな自然なりた しぜんがあって、どんな生き物がすんでいるのかを紹介しょうかいします。ゆたかな自然しぜんにかこまれた成田市では、さまざまな生き物が見られます。

みなさんも、家のまわりなど、身近な場所から観察かんさつしてみませんか？

そこではきっと、たくさんの生き物に出会うことができるはずです。



シュレーゲルアオガエル



ただがわ
下田川のまわりに広がる田んぼ

なりた 成田市ではこんな生き物が見つかりました

この種数は、平成26～27年にかけて成田市内の生き物を調べた結果です。

植物
929種

昆虫
1,355種

鳥
72種

ほ乳類
8種

両生類・は虫類
11種

底生生物
13種

魚
16種

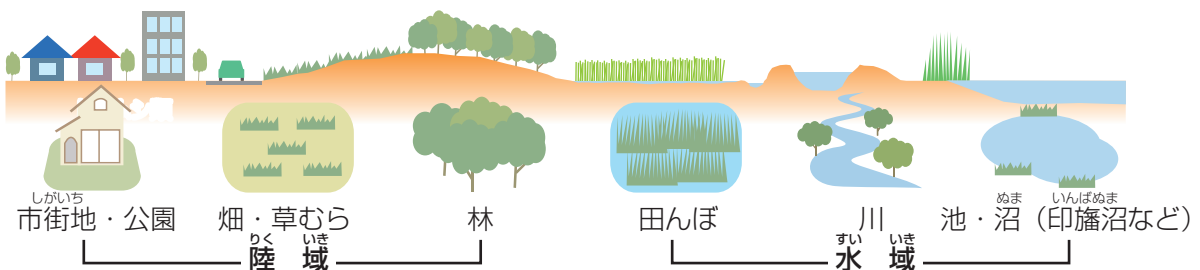
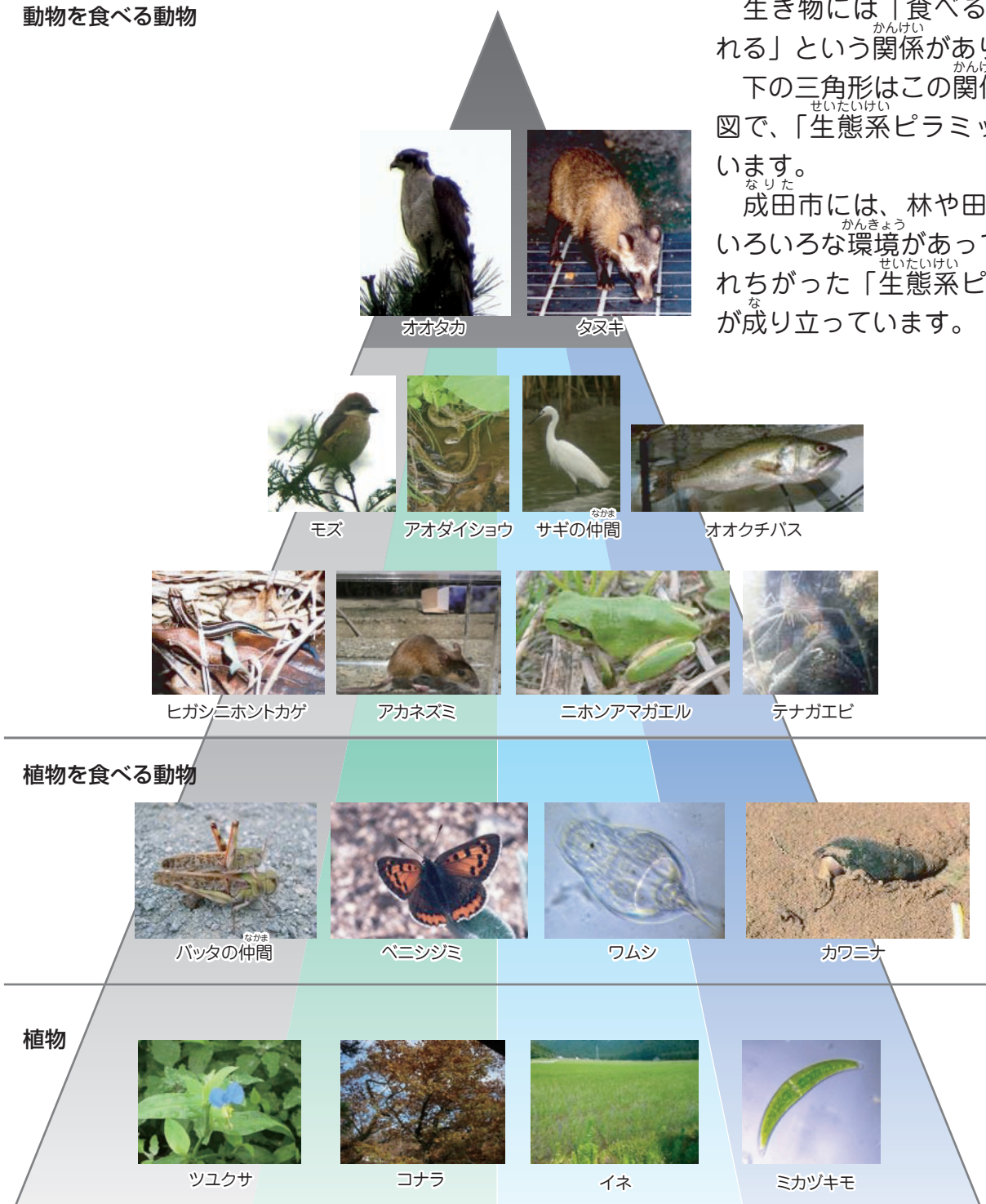
動物を食べる動物

せいいたいけい
なりのたの生態系ピラミッド

生き物には「食べる」「食べられる」という関係があります。

下の三角形はこの関係をかいた図で、「生態系ピラミッド」といいます。

成田市には、林や田んぼなど、いろいろな環境があって、それぞれちがった「生態系ピラミッド」が成り立っています。



かんきょう
生息環境

ちくべつ しぜん 2. ないたの地区別の自然のようす

ちくべつ しぜん 地区別の自然のようす

なりた かんきょう
成田市を環境のちがいなどから、22地区にわけました。
ここでは、それぞれの地区の自然を紹介します。



ねごながわりゅういき
根木名川下流域

田んぼが多く、まわり
にスギ林が見られる
ちいき
地域です



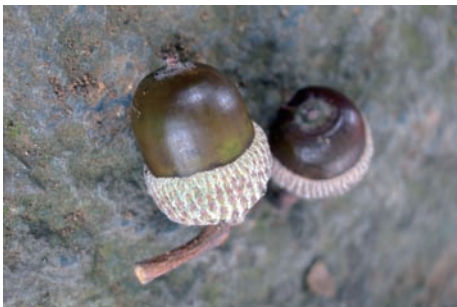
	田んぼ
	畑
	コナラ林
	水辺



いんぼぬま
印旛沼

おもてげんかん なりた
日本の空の表玄関「成田
こくさい
国際空港」があります

ちいき
畑が多い地域です



コナラのドングリ



なりたこくさい
成田国際空港



くりやまがわりゅういき
栗山川流域

ねこながわかりゅういき
1. 根木名川下流域



しぜん
自然のようす

- ・根木名川のまわりは、ヨシやオギなどが生えている
- ・田んぼが多い

生き物のとくちょう

- ・水辺にすむトンボやチョウの仲間が多い
- ・水辺の草むらで、ニホンアマガエルやイタチなどが見られる



ペニシジミ



ニホンアマガエル



水門と利根川



上空にトンボが飛ぶ刈取り前の田んぼ



根木名川のようす

ねこながわちゅう かりゅういき
2. 根木名川中～下流域



しぜん
自然のようす

- ・根木名川のまわりは、ヨシやマコモなどが生えている
- ・田んぼが多い

生き物のとくちょう

- ・田んぼで、シュレーゲルアオガエルなどがいない
- ・タヌキが多く、「溜め糞」が見られる



根木名川のようす



田んぼのようす



タヌキの「溜め糞」

ちしき
豆知識

タヌキの「溜め糞」

タヌキは決まった場所にフンをするよ。これを「溜め糞」というんだ。フンの中身（植物の実など）を見て、他のタヌキがえささがしに利用するなど、「情報交換」の場になっているといわれているよ。



ねこながわちゅうりゅういき 3. 根木名川中流域



■自然のようす

- ・市街地しがいちが広がっている
- ・成田山公園なりたさんの近くには、田んぼしゃめんや斜面の林があり、生き物が多い

■生き物のとくちょう

- ・市役所などがある市街地しがいちでも、土がある場所ではネジバナなどの花が見られる
- ・成田山公園なりたさんには、ウメなどの木がたくさんあり、鳥が多くやってくる



ネジバナ



田んぼしゃめんと斜面の林



成田山公園なりたさん



郷部大橋からのながめごうぶ

ねこながわじょうりゅういき 4. 根木名川上流域



■自然のようす

- ・田んぼのまわりに、スギ林が広がっている
- ・畑が多く見られる

■生き物のとくちょう

- ・林や水辺にすむトンボやチョウみずへの仲間が多い
- ・畑などには、モグラ塚つかが見られる



スギ林のようす



モグラ塚つか

ちしき 豆知識

モグラのトンネル工事「モグラ塚つか」

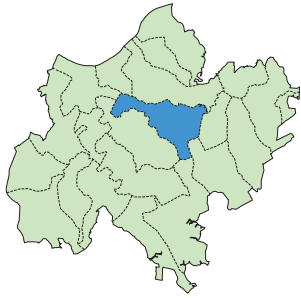
モグラ塚つかは、モグラが地下でほった土をすてる「土すて場」なんだ。

モグラすがたの姿はあまり見られないけど、モグラ塚つかはモグラつかのいる証拠しょうこといえるよ。

おぼねがわりゆういき
5. 尾羽根川流域

■自然のようす

- ・ 田んぼのまわりに、スギ林が広がっている
- ・ 広いゴルフ場がある
- ・ 尾羽根川のまわりは、メヒシバなど背の低い植物の草むらになっている
- ・ 湧水が多い



■生き物のとくちょう

- ・ 林や水辺にすむトンボやチョウの仲間が多い
- ・ 林では、コゲラやシジュウカラなどがむれで移動している



湧水が多い



ウラギンシジミ



田んぼとスギ林

あらうみがわりゆういき
6. 荒海川流域

■自然のようす

- ・ 田んぼのまわりに、スギ林が広がっている
- ・ いずみ聖地公園には、大きな池がある
- ・ 荒海川のまわりは、マコモやオギなどが生えている



スギ林にかこまれた田んぼ

■生き物のとくちょう

- ・ 林や水辺にすむトンボやチョウの仲間が多い
- ・ いずみ聖地公園の池では、ハスの花が見られる



いずみ聖地公園のハス

豆知識

蓮根はハスの根っこ？

蓮根は、「ハスの根」と書くけれど、実は「根」ではなく、「地下の茎」なんだ。ちなみに蓮根の穴は、地上から空気を取りいれて、茎や根に送るためのパイプの役割をしているよ。

とっこうがわりゅういき
7. 取香川流域



■自然のようす

- ・ 田んぼのまわりに、スギ林が広がっている
- ・ 取香川のまわりは、マコモやオギなどが生えている

■生き物のとくちょう

- ・ 林や水辺にすむトンボやチョウの仲間が多い
- ・ 道沿いの竹林などでシダの仲間が多く見られる



シダの仲間が多い



久米地区の谷津田

なりたくこうしゅうへんいき
8. 成田空港周辺域



■自然のようす

- ・ 成田国際空港がある
- ・ 空港のまわりは、スギ林や畑、住宅地が広がっている

■生き物のとくちょう

- ・ スギ林や畑では、モンシロチョウやタマムシなどの昆虫が見られる
- ・ ツグミやムクドリなどが、畑や草むらでえさを食べている



日本の空の表玄関「成田国際空港」



空港のまわりにある畑



タマムシ

豆知識

生き物に学べ

“タマムシで発色”

「キラリ」と光り輝くタマムシ。タマムシが光る仕組みをまねして、ステンレスに塗料をつけずに、いろいろな色に見えるようにする技術が開発されているよ。塗料を使わないから、リサイクルも簡単で、口にいれても安全なんだ。

とおかがわりゆういき
9. 十日川流域



しぜん
■自然のようす

- ・ 田んぼのまわりに、スギ林や住宅地が広がっている
- ・ 坂田ヶ池総合公園には、大きな池がある

■生き物のとくちょう

- ・ 林には、秋から冬にかけて赤い実が目立つカラスウリが見られる
- ・ 坂田ヶ池総合公園の池では、ハシビロガモが多く見られる



赤い実をつけるカラスウリ



池で泳ぐハシビロガモ



田んぼとスギ林

こぼしがわりゆういき
10. 小橋川流域

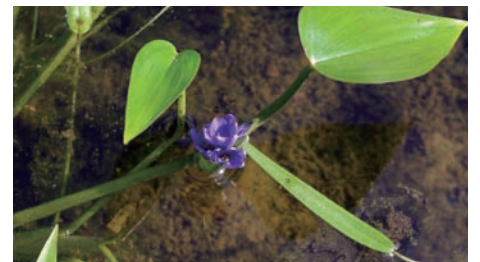


しぜん
■自然のようす

- ・ 成田ニュータウンがあり、住宅、街路樹や公園では緑が見られる
- ・ 小橋川沿いは、ヨシなどが生えている
- ・ 川のまわりに、スギ林や田んぼが広がっている

■生き物のとくちょう

- ・ 田んぼでは、オモダカやコナギなどの植物や、ニホンアマガエル、シュレーゲルアオガエルなどが見られる。ニホンカナヘビやモグラ塚も多い
- ・ 成田病院の南側には調整池があり、カモの仲間などが泳いでいる



田んぼに多いコナギ



成田ニュータウンの街路樹



水鳥が多い成田病院南側の調整池

ちしき
豆知識

おいしい雑草！コナギ

コナギは田んぼに生育する雑草の代表。日本ではあまり食べないけど、実はおいしいんだ。ベトナムでは料理にふつうに使われているんだって。



いんばぬましゅうへんいき

11. 印旛沼周辺域



■自然のようす

- ・印旛沼があり、そのまわりに田んぼが広がっている。ため池もある
- ・大きな林はほとんどない

■生き物のとくちょう

- ・印旛沼では、ヨシやオギなどが生えている
- ・田んぼや水路では、ニホンアマガエルやウシガエルが多く見られる。また、サギやシギの仲間がえさを食べに来ている



ヨシの草むらが広がる印旛沼



白い姿が目立つコサギ



ため池 (浅間池)

12. 江川流域



■自然のようす

- ・江川のまわりに、田んぼやスギ林が広がっている
- ・公津の杜公園には、大きな池がある

■生き物のとくちょう

- ・田んぼでは、ニホンアマガエルやシュレーゲルアオガエルなどが見られる。田んぼのあぜには、ニホンカナヘビやモグラ塚が多く見られる
- ・林では、ホオジロの仲間や、木の実や虫を食べるシジュウカラなどの鳥が見られる



公津の杜公園の池



シジュウカラ



江川のようす

豆知識 ため池の役割

ため池とは、雨や川の水が少ない地域でも水が使えるように、水をためておく人工の池のこと。

ため池は、貴重な水源となる他、洪水を防いだり、生き物のすみかになったりと、いろいろな役割を果たしているんだ。

ねこながわりゅういき きゅうしもふさまちいき
13. 根木名川下流域 (旧下総町地域)



しぜん
自然のようす

- ・根木名川のまわりに、田んぼが広がっている

生き物のとくちょう

- ・ギンイチモンジセセリなどの水辺にすむチョウやトンボ、カエルの仲間が多い
- ・田んぼでは、ニホンアマガエルやウシガエルなどが見られる。また、サギやシギの仲間がえさを食べに来ている
- ・川のまわりや田んぼのあぜには、バッタが多い。また、スズメやムクドリなどがえさを食べに来ている



ギンイチモンジセセリ



つる植物が川沿いに広がっている

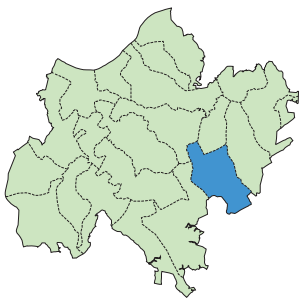


ゆったりと流れる根木名川



オンブバッタ

おばねがわりゅういきじょうりゅう きゅうたいえいまちいき
14. 尾羽根川流域上流 (旧大栄町地域)

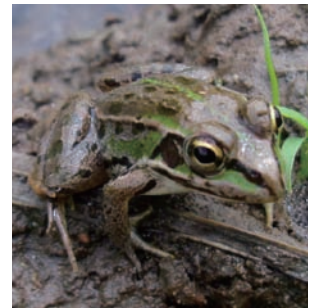


しぜん
自然のようす

- ・大部分が畑になっている
- ・尾羽根川に沿って田んぼが広がり、そのまわりは、スギ林となっている

生き物のとくちょう

- ・水辺には、イチモンジセセリなどのチョウやトンボの仲間、トウキョウダルマガエルなどのカエルの仲間が多い
- ・夏のスギ林には、ヤブカンゾウやキツネノカミソリの花が目立つ



トウキョウダルマガエル



細長くつながっている谷津田



尾羽根川に沿って広がる田んぼ

ちしき
豆知識

ダルマさんとそっくり

“トウキョウダルマガエル”

トウキョウダルマガエルは、その名のとおり、「おなかポッコリ」で、まるでダルマさんのような姿をしているよ。実はこのカエル、絶滅が心配されている貴重なカエルなんだ。



おぼねがわりゅういきかりゅう はせんねこながわしゅうへん
15. 尾羽根川流域下流（派川根木名川周辺）

■自然のようす

- ・大部分が畑で、派川根木名川に沿って田んぼやスギ林が広がっている
- ・田んぼの一部は、休耕田（米の生産を休んでいる田んぼ）となっている

■生き物のとくちょう

- ・休耕田では、オモダカなどの水辺の植物が見られる
- ・水辺では、オオシオカラトンボなどのトンボの仲間やモンキアゲハなどのチョウの仲間が見られる



水をすうモンキアゲハ



派川根木名川のようす

さかいがわりゅういき
16. 境川流域

■自然のようす

- ・大部分が畑で、境川に沿って田んぼやスギ林が広がっている

■生き物のとくちょう

- ・水辺には、シオカラトンボやオニヤンマなどのトンボの仲間が多い
- ・畑や田んぼのあぜなどの草むらには、ショウリョウバッタなどのバッタの仲間が多い



ショウリョウバッタ



境川のようす

ちしき 豆知識

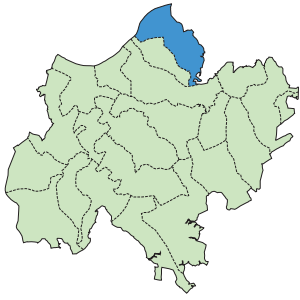
ショウリョウバッタ

の名前の由来、知ってる？

“チキチキ”と大きな音を立てて羽ばたくショウリョウバッタ。

8月のお盆（精霊）の時期からよく見られることで、この名前がついたといわれているよ。

じょうこうがわりゅういき
17. 浄向川流域



しぜん
■自然のようす

- いばらき さかいめ とねがわ
・茨城県との境目で利根川が流れている
- じょうこうがわ
・浄向川のまわりに、田んぼやハス田が広がっている

■生き物のとくちょう

- じょうこうがわ ほ なかま
・浄向川では、夏には穂をつけたガマの仲間などが見られる。その他、ヤナギモやヒシなどの水草も多い
- みずへ なかま
・水辺では、トンボやチョウ、カエルの仲間が多く見られる



ハス田のようす

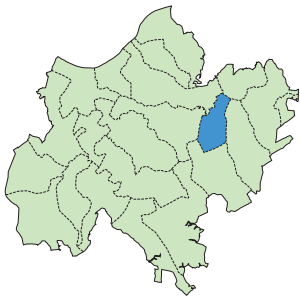


じょうこうがわ
浄向川のようす



ほ なかま
穂をつけたガマの仲間

おおすかがわりゅういき てんしょうじがわしゅうへん
18. 大須賀川流域 (天昌寺川周辺)



しぜん
■自然のようす

- てんしょうじがわ
・天昌寺川のまわりに、田んぼが広がっている
- ・田んぼのまわりは、スギ林や畑になっている



てんしょうじがわ
天昌寺川のようす

■生き物のとくちょう

- みずへ なかま
・水辺では、トンボやチョウ、カエルの仲間が多く見られる
- ・春には、林でウグイスやコジュケイなどの声を聞くことができる



ウグイス



田んぼのまわりに広がる畑

ちしき なりた
豆知識 成田市にすんでいる鳥

こんな声でなくよ！

ウグイス：ホーホケキョ

コジュケイ：チョット コイ

キジ：ケーン ケーン

モズ：キチキチ



おおすかがわりゅういき しただがわしゅうへん
19. 大須賀川流域 (下田川周辺)



■ **自然のようす**
しぜん
しただがわ

- ・下田川のまわりに、田んぼやスギ林が広がっている

■ **生き物のとくちょう**

- ・田んぼでは、キクモやオモダカなどの水辺の植物みずべが見られる
- ・春には、林でウグイスやコジュケイなどの声を聞くことができる



キクモ



しただがわ
下田川のまわりに広がる田んぼ

おおすかがわじょうりゅういき
20. 大須賀川上流域



■ **自然のようす**
しぜん
おおすかがわ

- ・大須賀川のまわりに、田んぼが広がっている
- ・田んぼのまわりは、スギ林になっている

■ **生き物のとくちょう**

- ・水辺では、トンボやチョウ、カエルの仲間なかまが多く見られる
- ・夏の田んぼでは、コケオトギリの黄色い花が咲く。あぜでは、ニホンカナヘビやモグラ塚つかが見られる



オニヤンマ



コケオトギリ



かんとう おうだん
田んぼの上を東関東自動車道が横断している

豆知識

ちょっとこわい

オトギリソウ「弟切草」の名前

コケオトギリはオトギリソウの仲間なかま。このオトギリソウの名前は、ある兄弟ひでんの弟が秘伝みつでんの傷薬である薬草きくそう（オトギリソウ）のことを他人にばらしてしまい、おこった兄によって斬り殺された…という平安時代の伝説でんせつが由来なんだ。葉っぱにある黒い斑点はんでんは、飛びちった血のあとだともいわれてるよ。

おおすかがわりゆういき
21. 大須賀川下流域



しぜん
自然のようす

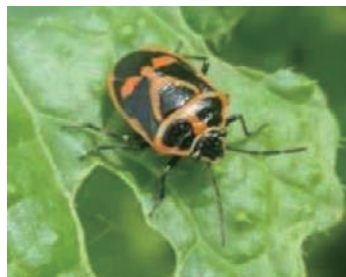
- ・大須賀川のまわりに、田んぼが広がっている
- ・広いゴルフ場がある

生き物のとくちょう

- ・水辺では、トンボやチョウ、カエルの仲間が多く見られる
- ・田んぼの水路では、カルガモなどのカモの仲間が見られる。その他、特定外来生物のオオフサモが生えている



とくてい
特定外来生物のオオフサモ



ナガメ



おおすかがわ
大須賀川に沿って広がる田んぼ

くりやまがわりゆういき
22. 栗山川流域



しぜん
自然のようす

- ・栗山川のまわりは大部分が畑で、一部に田んぼが広がっている
- ・田んぼのまわりでは、ガマの仲間などが生育する湿地が見られる
- ・道沿いの斜面は、草むらになっている

生き物のとくちょう

- ・湿地では、セリやガマなどの水辺の植物が多く見られる。ニホンアカガエルなどのカエルの仲間が多く見られる
- ・草むらには、バッタが多く、畑の近くでは、ハクビシンの足あとが見られる



しっち
湿地に生えるガマの仲間



くりやまがわ
栗山川のまわりにある畑



ぞ
道沿いの斜面の草むら

ちしき
豆知識

とくてい
特定外来生物ってなあに？

もともと日本にいなかった生き物で、人間によって持ちこまれたもののことだよ。

もともとすんでいた生き物を食べたり、えさを横取りしたりして、その地域の生き物に悪い影響を与えるので、問題になっているんだ。



なりたの植物

オオイヌノフグリやヒメジョオンは、まちなかでも、よく見かける植物だね。

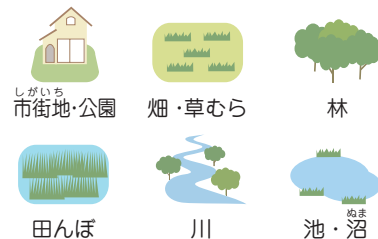


マークの説明 せつめい

花が咲く時期 さ



生えている場所



オオイヌノフグリ

きれいな青色の花をたくさんつけ、道ばたや畑などでよく見られます。外国から入ってきて、今では全国に広がっています。ほとんどの花は、咲いてから一日で落ちてしまいます。

高さ：10～20cm / 色：青色



春



ホトケノザ

道ばたや田畑のあぜなどでよく見られます。春の七草の「ほとけのざ」は「コオニタビラコ」という別の植物で、このホトケノザは食べられません。

高さ：10～30cm / 色：ピンク色



春



ネジバナ

ランの仲間ではめずらしく、まちなかでも見られます。小さなピンク色の花が、茎のまわりをねじったように並んで咲くことからこの名前がつけました。

高さ：10～40cm / 色：ピンク色



春

夏



ヒメジョオン

まちなかで見られる外国からきた植物です。背が高く、花が咲くとよく目立ちます。似ている花にハルジオンがあります。(見分け方のコツは「もっと知ろう！」にあるよ)

高さ：30～130cm / 色：うすいピンク色



春



ミゾソバ

川や道ばたなどの湿った場所に生えます。水路などの溝みぞに生えるのでミゾソバといいます。葉っぱの形が牛の顔にも見えることから「ウシノヒタイひたい（牛の額）」ともよばれます。
高さ：30～100cm／色：白～ピンク色



ヒルガオ

朝に花がひらきますが、昼になってもしぼまないためこの名前がつきました。つるをのばして、他の植物やフェンスにからみついてのびていきます。
長さ：50～150cm／色：ピンク色



コナラ

雑木林ぞうきばやしに多く見られ、秋に実（ドングリ）をつけます。昔はこの木を切って、炭を作っていました。また、シイタケしいたけを栽培する原木としても使われています。
高さ：15～20m／色：黄緑色



オモダカ

田んぼに見られ、夏さに咲く白い花と、矢印やじるしのような葉っぱがとくちょうです。おせち料理で食べる「クワイ」は、オモダカの球根かいらいようを食用に改良したものです。
高さ：20～60cm／色：白色



もっと知ろう！

●ヒメジョオン、ハルジオンの見分け方

ハルジオンは4～5月に、ヒメジョオンは5～8月に咲きます。茎くきをおって中がつまっていたらヒメジョオン、中がからっぽだったらハルジオンです。ヒメジョオンにくらべ、細い花びらがハルジオンです。

ハルジオン ヒメジョオン





なりたの昆虫

成田市には田んぼがたくさんあって、オニヤンマ、アカトンボなどのトンボの仲間が多く見られるんだ。

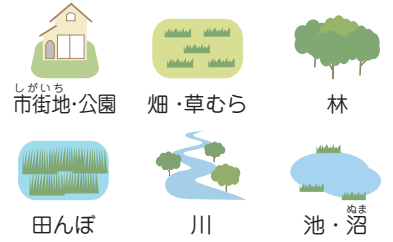


マークの説明

見られる時期



見られる場所



アオスジアゲハ

まちなかでもよく見られます。はねは黒色で、前ばねと後ろばねにエメラルドグリーン模様があります。幼虫はクスノキの仲間の葉っぱを食べて育ちます。

大きさ：30～45mm / 色：黒色、エメラルドグリーン / 食べもの：花のみつ



コクワガタ

雑木林の他、公園の樹木などでも見ることができます。成虫で冬をこし、寿命は2～3年です。

大きさ：20～50mm / 色：黒色 / 食べもの：樹液



ヒグラシ

スギ林・神社の林などにすんでいて、明け方や夕方の暗いときになくことが多いセミです。はねがとうめいで、きれいです。

大きさ：45mm 前後 / 色：茶色 / 食べもの：樹液 / なきごえ：カナカナ



オオカマキリ

日当たりのよい草木の葉っぱの上で、他の昆虫がやってくるのを待ちかまえています。日本最大のカマキリです。

大きさ：70～90mm / 色：緑色、茶色 / 食べもの：バッタ、チョウなど



ノシメトンボ

赤トンボの仲間、はねの先が黒いのがとくちょうです。まわりに林のある明るい池や沼・田んぼで多く見られます。

大きさ：40～50mm / 色：赤色、赤茶色 / 食べもの：昆虫など



オニヤンマ

林のそばの川や湿地で多く見られる、日本で最も大きなトンボの一種です。黒に黄色のしま模様とエメラルドグリーン大きな目かとくちょうです。

大きさ：100mm / 色：黒色、黄色 / 食べもの：昆虫



ナナホシテントウ

農作物の害虫のアブラムシを食べるため、益虫（よいことをしてくれる虫）として大事にされています。体に7つの黒い点があることから、この名前がつけました。似ているテントウムシにナミテントウがいます。（「もっと知ろう！」も見てね）

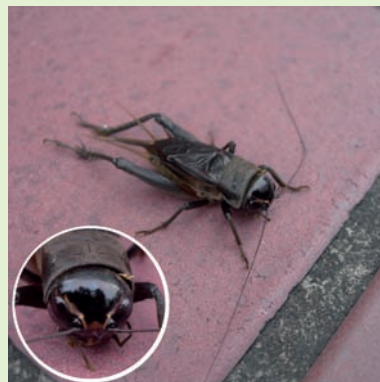
大きさ：5～9mm / 色：体は黒色、前ばねは赤色に黒いはん点 / 食べもの：アブラムシ



エンマコオロギ

オスは夜に“ヒヒヒヒヨヒヨヒヨ…”というもの悲しい声でなきます。顔にある白いまゆ毛模様が「えんま様」の顔に見えるため名づけられた、本州で最も大きなコオロギです。

大きさ：26～32mm / 色：こげ茶色 / 食べもの：植物、死んだ昆虫



もっと知ろう！

●ナナホシテントウとナミテントウ

ナミテントウは、ナナホシテントウと大きさもすんでいる場所にも似ています。アブラムシを食べるのも同じですが、ナナホシテントウとちがいナミテントウは、いろいろな模様をしています。

いろいろな模様があるナミテントウ





なりたの鳥

学校や家の近くで見かける「ツバメ」は、
泥などを運んできて巣をつくるんだって！

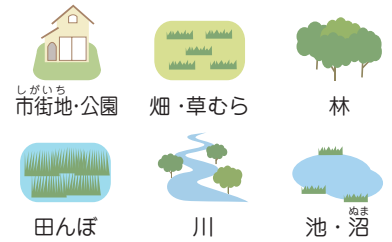


マークの説明

せいかつがた
生活型



見られる場所



メジロ

公園や庭でよく花のみつをすっています。
冬は、ナンテンなどの実を食べにやってきます。

大きさ：12cm / 色：体はくすんだ緑色、目のまわりは白色 / 食べもの：昆虫、木の実、花のみつなど / なきごえ：チーチー



留



シジュウカラ

まちの公園や庭、林などにすんでいるスズメくらいの大きさの鳥です。のどから尾にかけてネクタイのような黒いたて線があるのがとくちょうです。

大きさ：14cm / 色：背は灰色、腹はうす茶色 / 食べもの：昆虫、木の実など / なきごえ：ツイピーツイピー



留



ツバメ

家の屋根の下に、泥とかれ草を固めて巣をつくります。飛びながら昆虫をつかまえて食べます。

大きさ：17cm / 色：頭から背は黒色、腹は白色 / 食べもの：昆虫 / なきごえ：チュビチュビチュビチュルルル



夏



ハクセキレイ

胸にエプロンのような黒い模様があります。もともと水辺の鳥ですが、近ごろは、まちなかでも見られるようになりました。

大きさ：21cm / 色：頭から背は黒色、腹は白色 / 食べもの：昆虫、木の実など / なきごえ：チュチュン・チュチュン



留



ムクドリ

スズメとハトの中間くらいの大きさです。公園やまちなかで見られます。ヒナを育てているとき以外は集まって、冬には、数万羽の大きなむれになることもあります。

大きさ：24cm / 色：茶色 / 食べもの：昆虫、木の実など / なきごえ：ギャーギャー



留



ツグミ

冬になるとシベリアからやってくる渡り鳥です。畑・草むら、川原など広い場所で、地面をついばんでえさをとっている姿が見られます。

大きさ：24cm / 色：茶色 / 食べもの：昆虫、木の実など / なきごえ：クィクィ



冬



カワセミ

青色に輝く背中とオレンジ色のお腹がとくちょうです。水辺の小枝などに止まって、じっと水面を見つめ、えさの魚を見つけるとダイビングしてつかまえます。

大きさ：17cm / 色：背は青緑色、腹はオレンジ色 / 食べもの：魚、カエル / なきごえ：ツイーツ



留



ダイサギ

秋から春にかけては、くちばしが黄色、夏はくちばしと足の先が黒くなるのがとくちょうです。4～8月には、コサギやチュウサギと集団で雑木林や竹林などに巣をつくります。

大きさ：90cm / 色：白色 / 食べもの：魚、ザリガニなど / なきごえ：グワー、ゴアー



留



もっと知ろう！

● 鳥の生活型

鳥の見られる季節を仲間わけしたものを「生活型」とよび、次のようなものがあります。

留 留鳥：1年をとおして同じ地域にすむ鳥。 **夏** 夏鳥：春にやってきて子どもをうみ、秋に去っていく鳥。

旅 旅鳥：渡りの途中に立ち寄った鳥。 **冬** 冬鳥：秋にやってきて、冬をすごし、春に去っていく鳥。



にゅうるい りょうせいりい ちゅうるい
なりたのほ乳類、両生類、は虫類
タヌキは木登りが上手なんだって！



せつめい
マークの説明

見られる時期 **春** **夏** **秋** **冬**

見られる場所

- しがいち市街地・公園
- 畑・草むら
- 林
- 田んぼ
- 川
- 池・沼

タヌキ

木登りが上手で、木に登ってカキやビワなどを食べます。林にすみませんが、人の家の近くでも見られます。糞を決まった場所にする「溜め糞」をします。

大きさ：50～60cm / 色：茶色 /
 食べもの：果実、小さな動物



春 **夏** **秋** **冬**

- しがいち市街地・公園
- 畑・草むら
- 林
- 川

モグラ

毛はビロードのようによごれにくくなっています。前足は土をほるため大きく、ツメも長いです。畑や草むらなどに「モグラ塚」とよばれるトンネルを作ります。(くわしくはP5の豆知識を見てね)

大きさ：12～16cm / 色：茶色 /
 食べもの：ミミズなど



春 **夏** **秋** **冬**

- しがいち市街地・公園
- 林
- 川

ニホンカナヘビ

体はガサガサしていてつやがなく、足の指が長い点でヒガシニホントカゲと区別できます。日当たりのよい草むらに多く見られます。

大きさ：16～23cm / 色：頭から背は黒色、腹は白色 / 食べもの：昆虫など



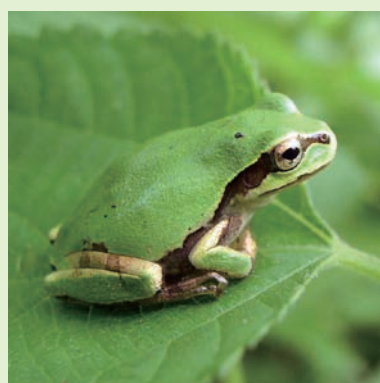
春 **夏** **秋**

- しがいち市街地・公園
- 畑・草むら

ニホンアマガエル

目の所に黒い線が入るのがとくちょうです。体の表面には、毒があるといわれていますので、さわった後は、手をしっかりあらってください。

大きさ：3～5.5cm / 色：濃い黄緑色 /
 食べもの：昆虫など



春 **夏** **秋**

- 田んぼ
- 池・沼

なりたの底生生物、魚

なりた市には、湧水にすむホトケドジョウやサワガニなどがたくさんいるんだね。

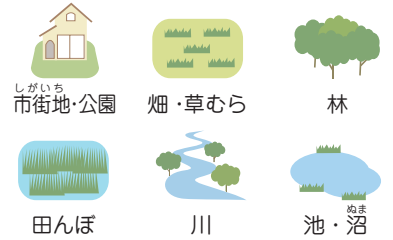


マークの説明

見られる時期



見られる場所



モツゴ

親が卵の世話をするので「持つ子」といいます。流れのゆるやかな川の水草などで見られます。口が小さく「クチボソ」ともよばれます。

大きさ：6～11cm / 色：銀白色 /
食べもの：底生生物、藻など



ホトケドジョウ

水温が低く流れのゆるやかな川や湿地、田んぼなどに生息し、湧水のある場所に多く見られます。ヒゲは6本で、10本生えているドジョウよりも少なく、体形もずんぐりしているのがとくちょうです。

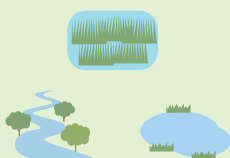
大きさ：6cm / 色：茶色 /
食べもの：底生生物、藻など



ミナミメダカ

流れのゆるやかな川や水路などに生息し、水草に卵をうみます。ミナミメダカは以前はよく見られましたが、水路が減ったことや外来種の影響などで数が少なくなっています。

大きさ：3.5cm / 色：おうど色 /
食べもの：底生生物、藻など



サワガニ

川の上流の小石や砂が多い場所の石の下などにかくれています。食用になり、からあげにして食べることもあります。

大きさ：4～6cm / 色：赤色、茶色、灰色 /
食べもの：水草、死んだ魚など





なりた
成田市の花「アジサイ」



なりた
成田市の木「ウメ」



なりたの^{しぜん}自然を
見てみよう！

発行：成田市環境部環境計画課
〒286-8585
千葉県成田市花崎町760
TEL. 0476-20-1533（直通）

編集：株式会社セルコ

発行日：平成28年9月

登録番号：成環計16-028